

---

---

資料編

---

---



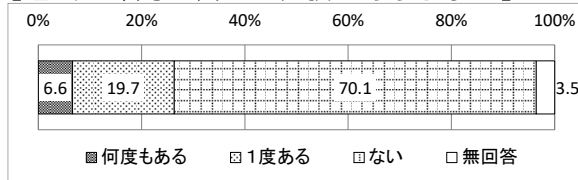
# 1. アンケート調査結果の抜粋

## 1-1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

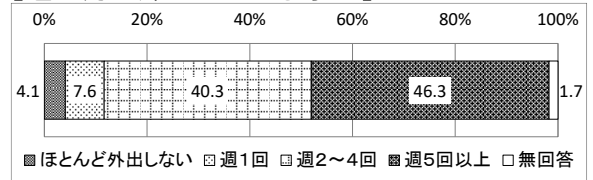
※以下のグラフのサンプル数は1,664です。(サンプル数が違うグラフは「n=」の表記があります)

### (1) からだを動かすことについて

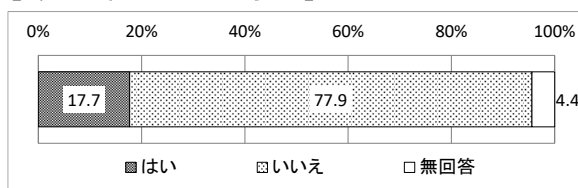
#### 【過去1年間に転んだ経験がありますか】



#### 【週に何回外出していますか】

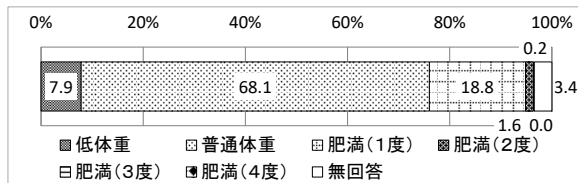


#### 【外出を控えていますか】

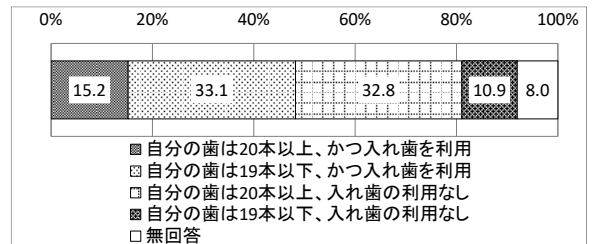


### (2) 食べることについて

#### 【BMI判定】

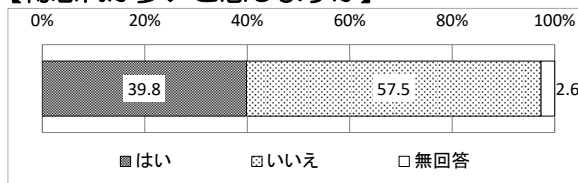


#### 【歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください】

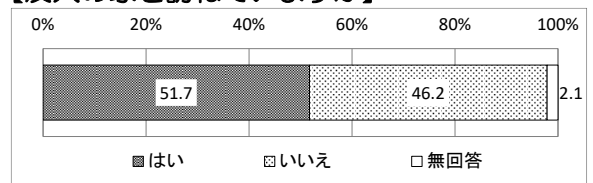


### (3) 毎日の生活について

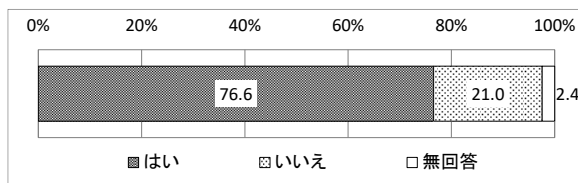
#### 【物忘れが多いと感じますか】



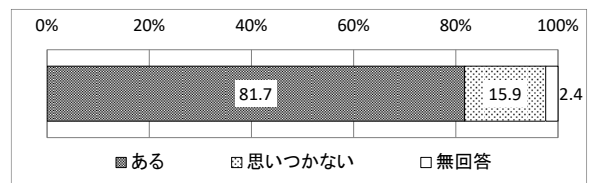
#### 【友人の家を訪ねていますか】



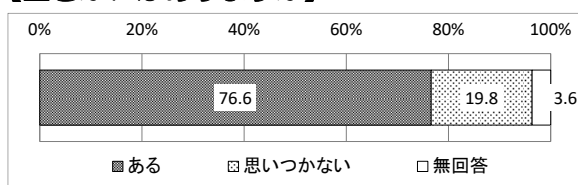
#### 【家族や友人の相談にのっていますか】



#### 【趣味はありますか】

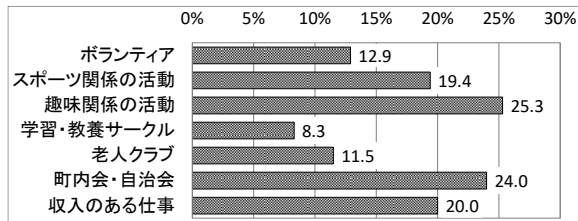


#### 【生きがいはありますか】

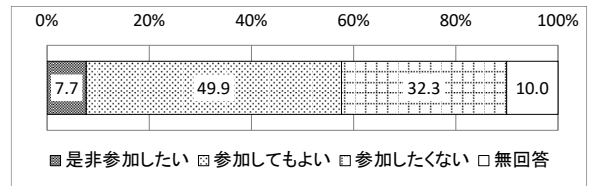


## (4) 地域での活動について

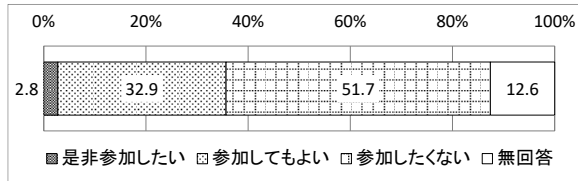
【地域活動への参加状況】



【地域づくり活動への参加者としての参加意向】

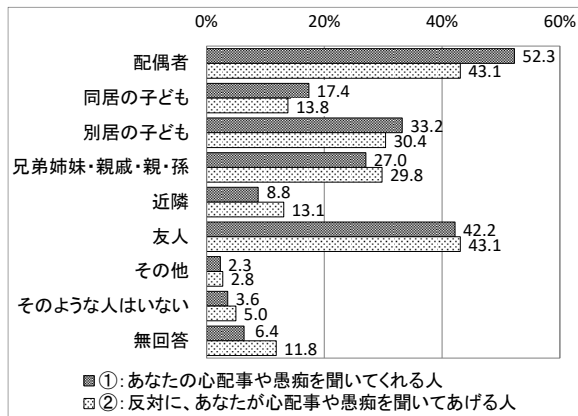


【地域づくり活動への企画・運営としての参加意向】

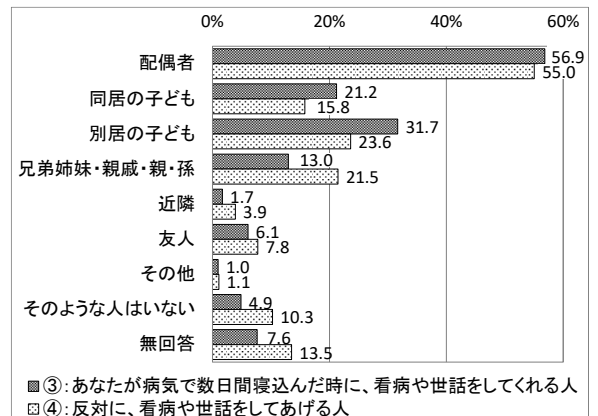


## (5) 助け合いについて

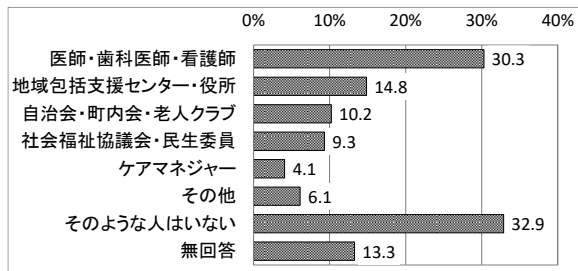
【あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人】



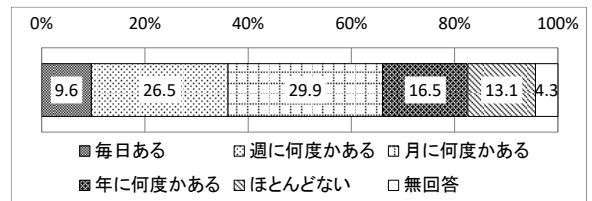
【看病や世話をしてくれる人・看病や世話をしてくれる人】



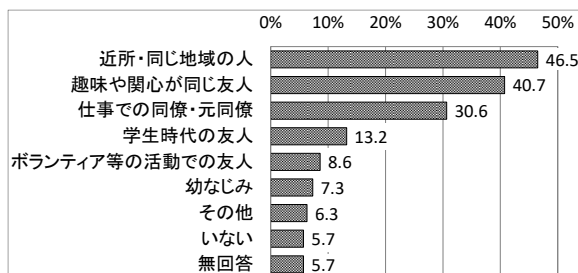
【家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください】



【友人・知人と会う頻度はどれくらいですか】

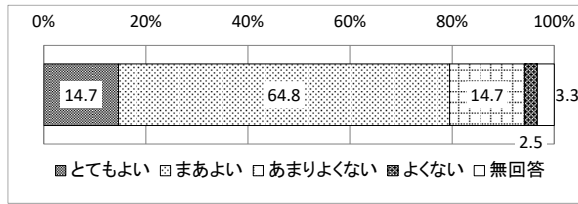


【よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか】

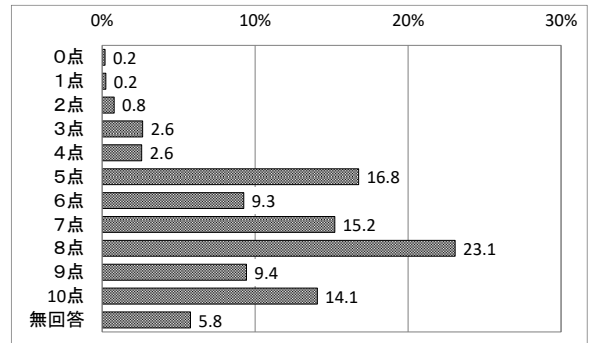


## (6) 健康について

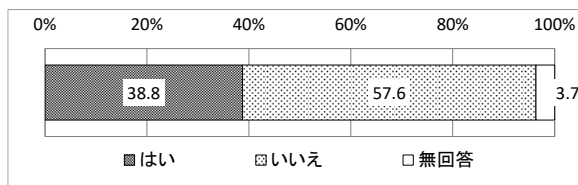
【現在のあなたの健康状態はいかがですか】



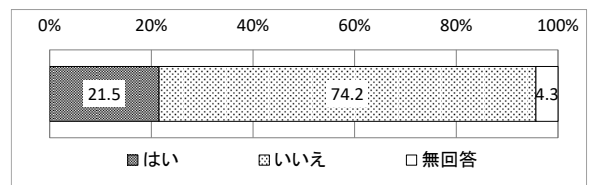
【現在どの程度幸せですか】



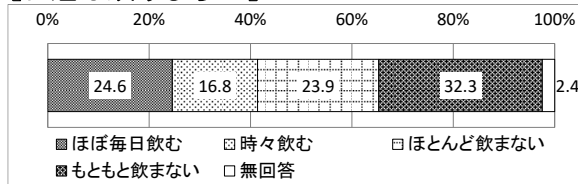
【この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしましたか】



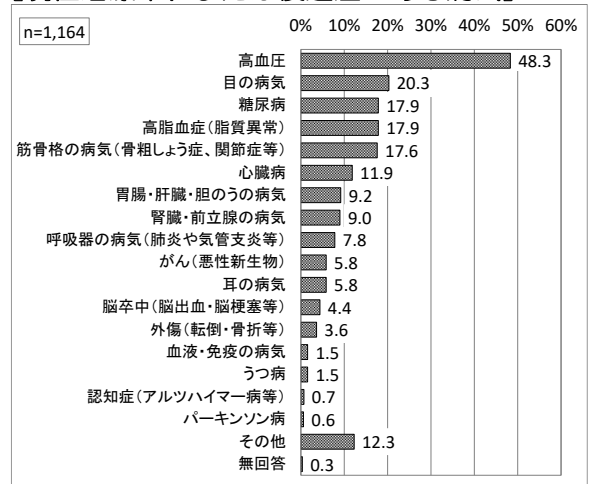
【この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくありましたか】



【お酒は飲みますか】

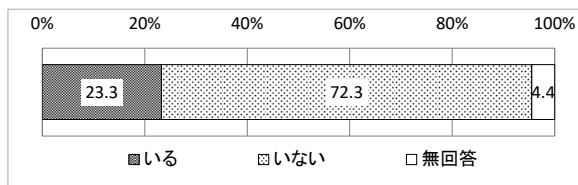


【現在治療中、または後遺症のある病気】

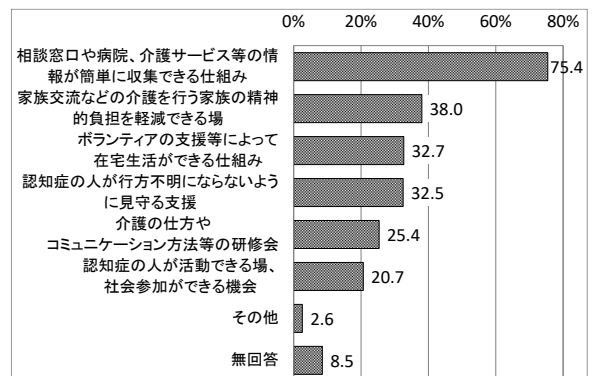


## (7) 認知症や在宅医療などについて

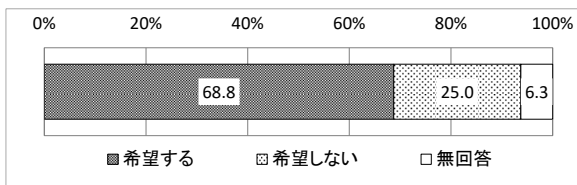
【あなたの身近(ご家族や親族、近所や職場の方等)に認知症の方はいますか】



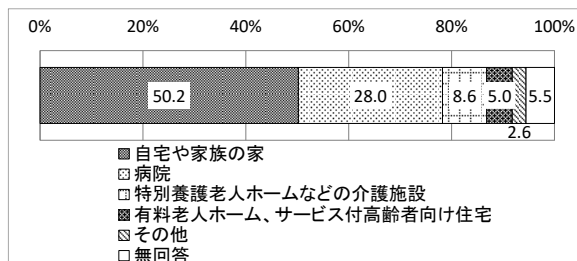
【自分自身やご家族が認知症になった時にどのような支援があれば良いと思いますか】



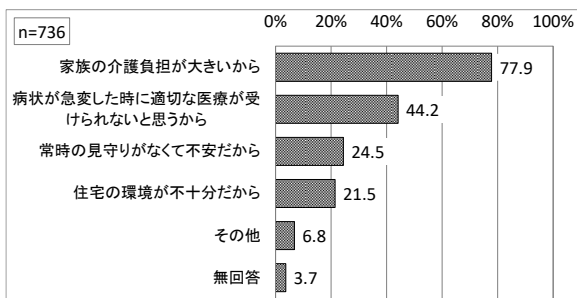
【療養が必要になった場合、在宅医療等を利用しながら、自宅で暮らし続けることを希望しますか】



【あなたは人生の最期をどこで迎えたいですか】



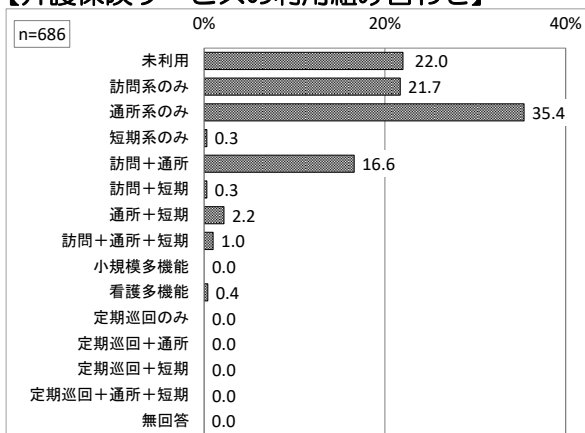
【人生の最期の時を自宅で過ごすことを希望しない、または難しいと思う理由は何ですか】



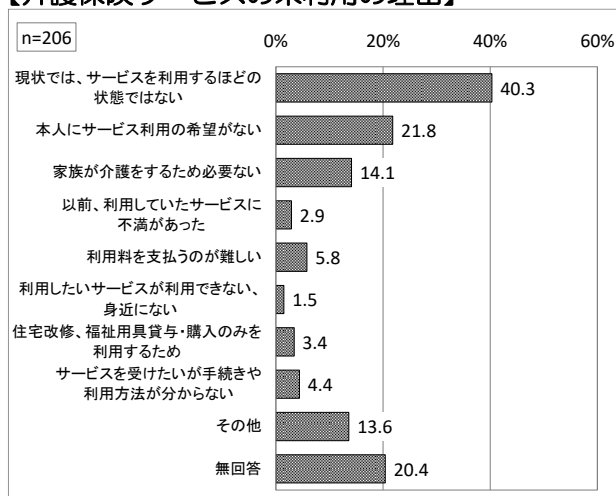
## 1-2. 在宅介護実態調査結果

### (1) 各種サービス等の利用状況

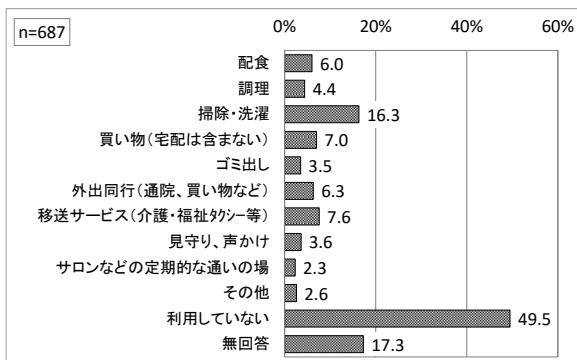
【介護保険サービスの利用組み合わせ】



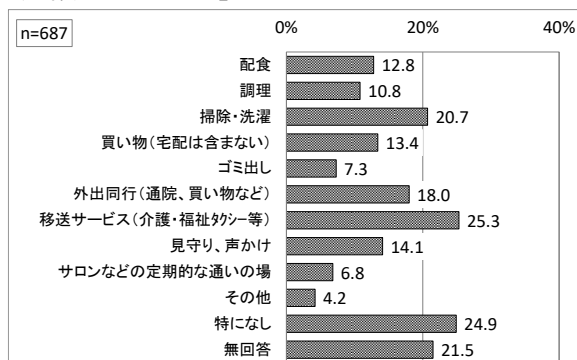
【介護保険サービスの未利用の理由】



【介護保険以外の支援・サービスの利用状況】

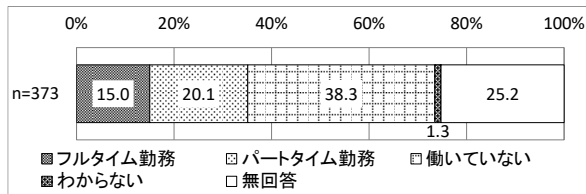


【在宅生活の継続のために必要と感じる支援・サービス】

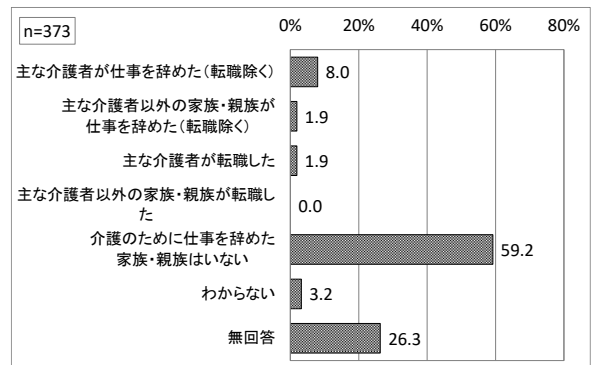


## (2) 主な介護者の就労に関する意識

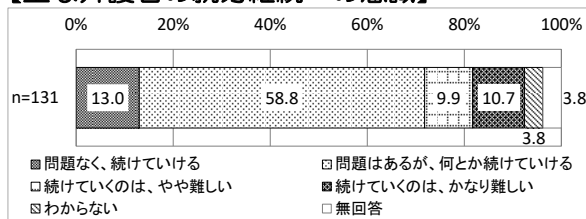
### 【主な介護者の就労状況】



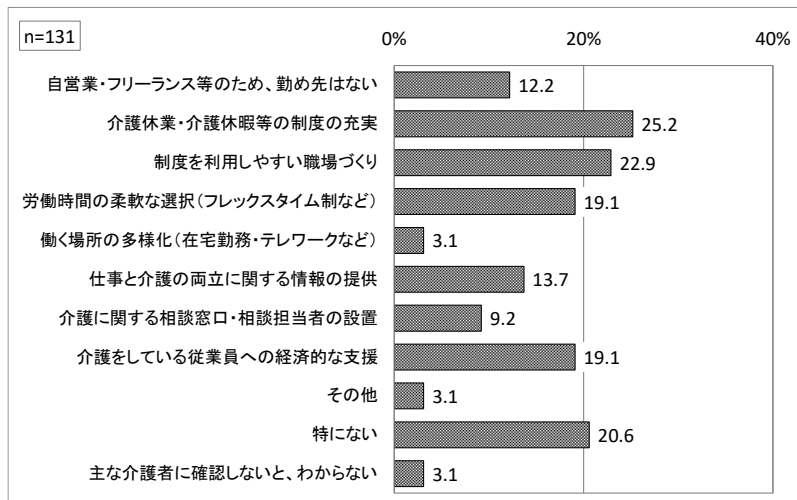
### 【介護のための離職の有無】



### 【主な介護者の就労継続への意識】

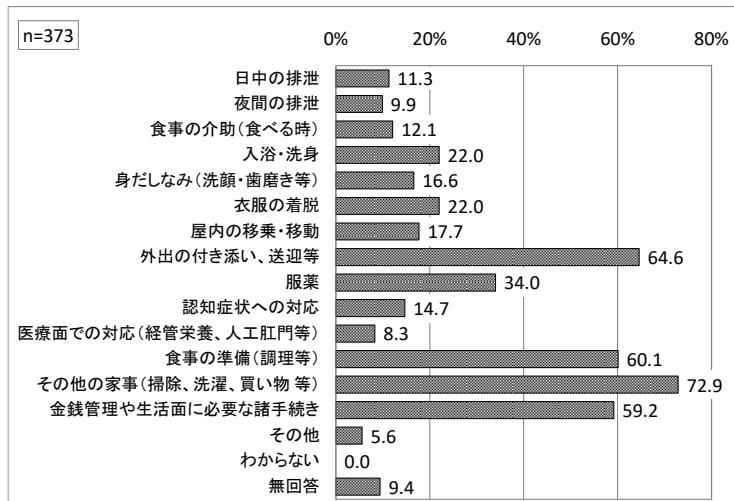


### 【主な介護者が就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援】

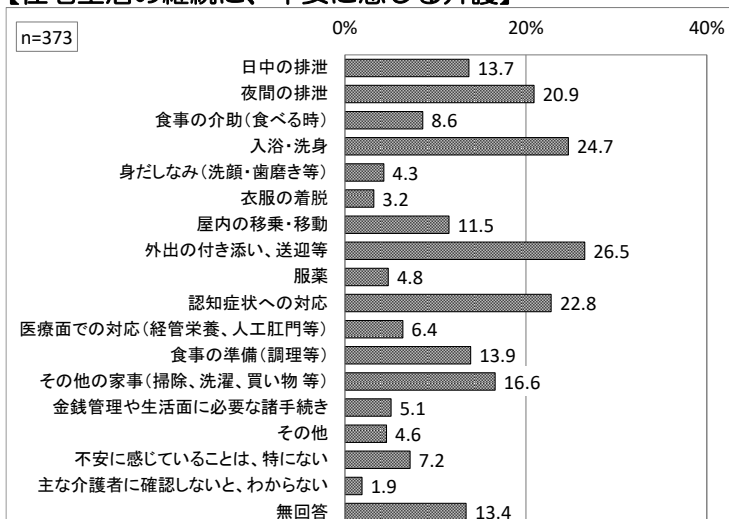


## (3) 主な介護者が行っている介護、不安を感じる介護

### 【行っている介護】

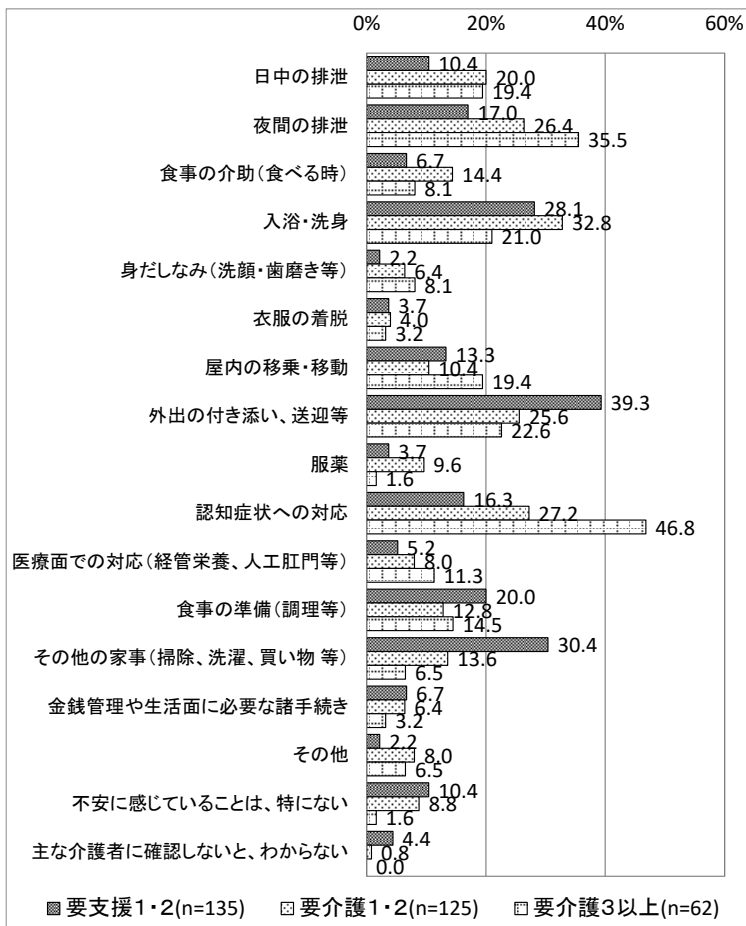


【在宅生活の継続に、不安を感じる介護】



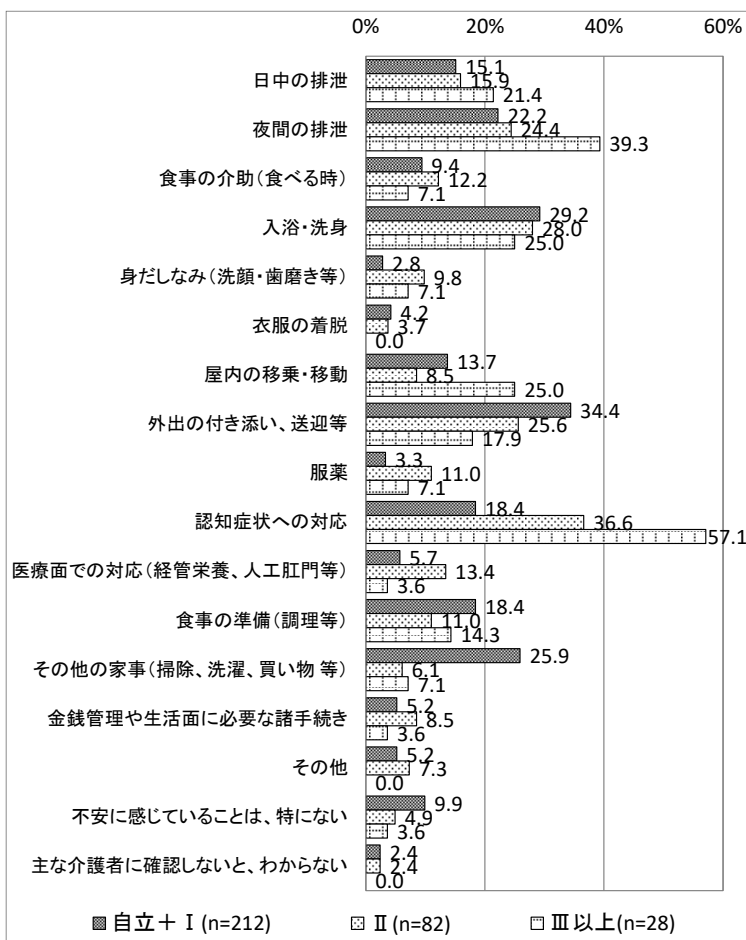
(4) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制について

【在宅生活の継続に、不安を感じる介護  
(要介護度別)】

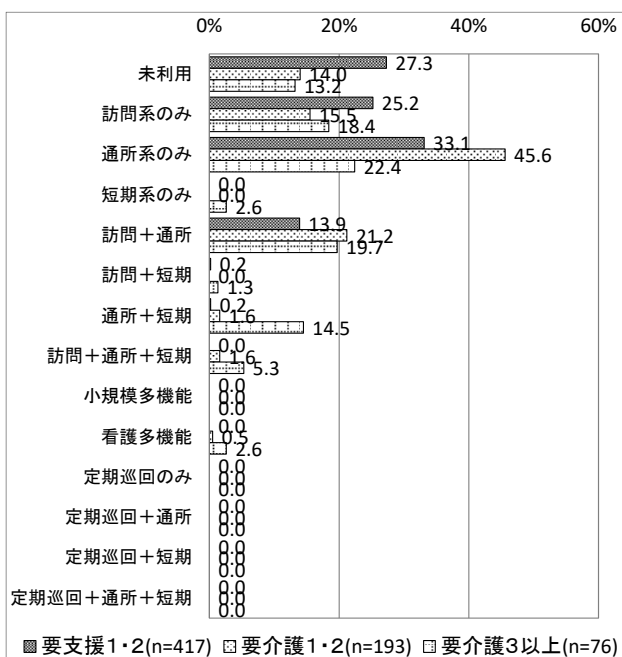




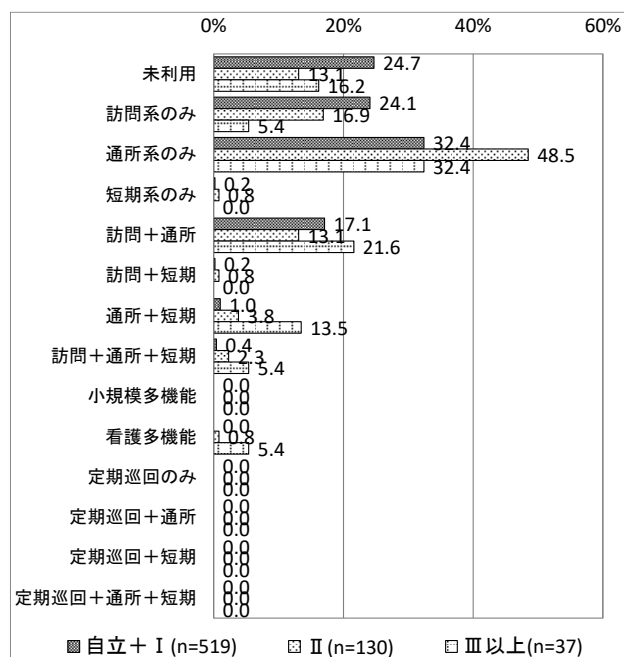
【在宅生活の継続に、不安を感じる介護  
(認知症自立度別)】



【サービス利用の組合せ(要介護度別)】

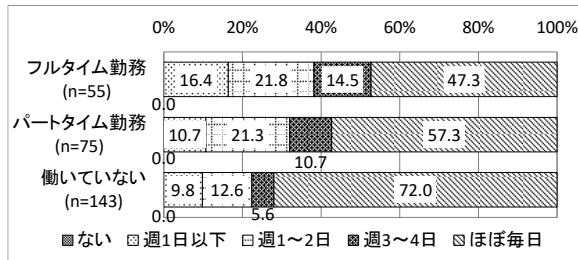


【サービス利用の組合せ(認知症自立度別)】

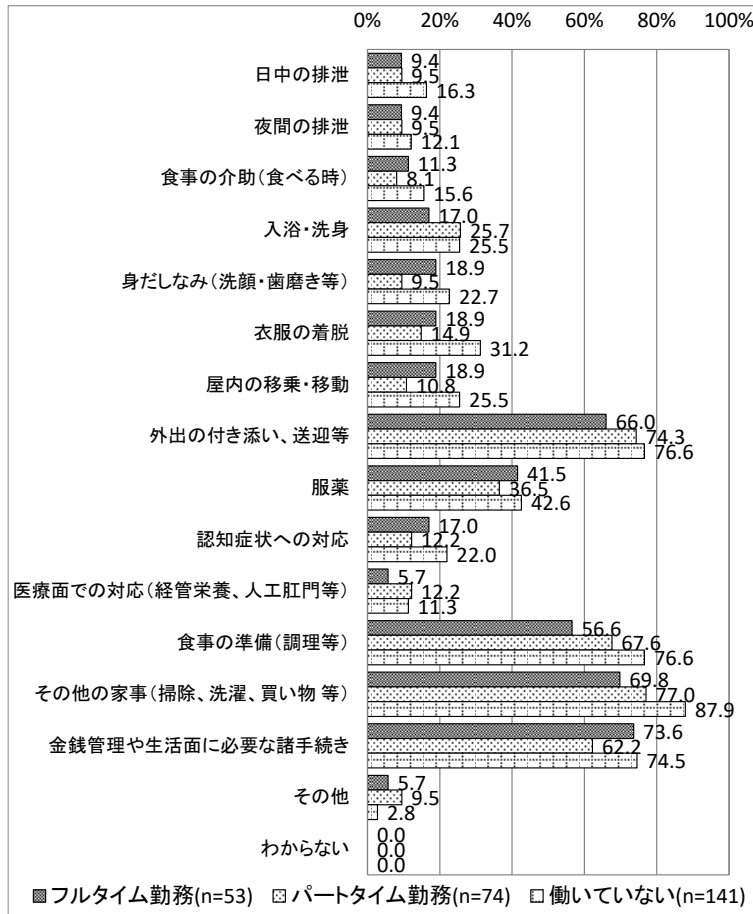


## (5) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制について

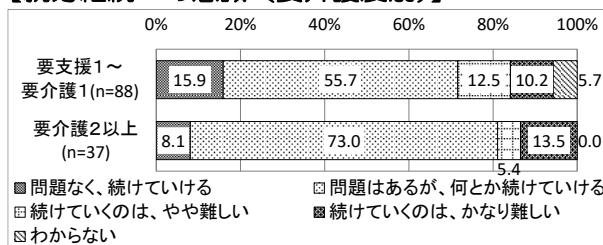
### 【家族等による介護の頻度（就労状況別）】



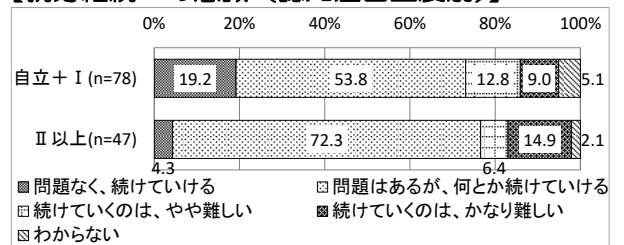
### 【行っている介護（就労状況別）】



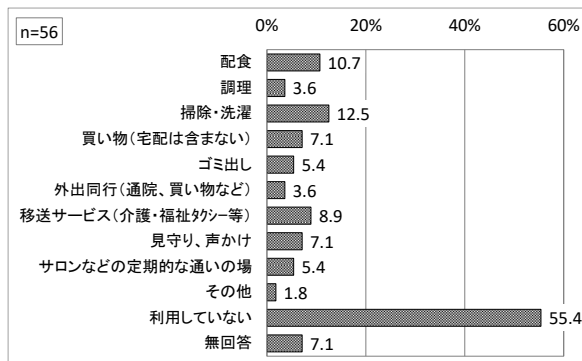
### 【就労継続への意識（要介護度別）】



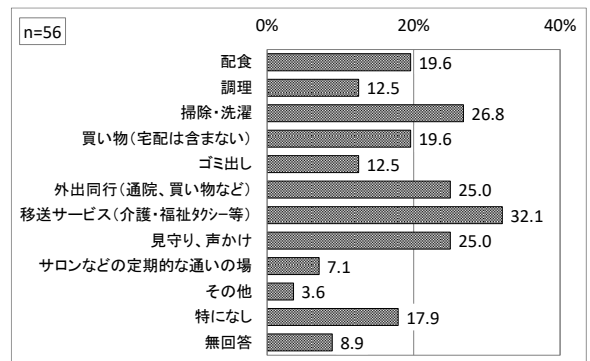
### 【就労継続への意識（認知症自立度別）】



【介護保険以外の支援・サービスの利用状況  
(フルタイム勤務者)】

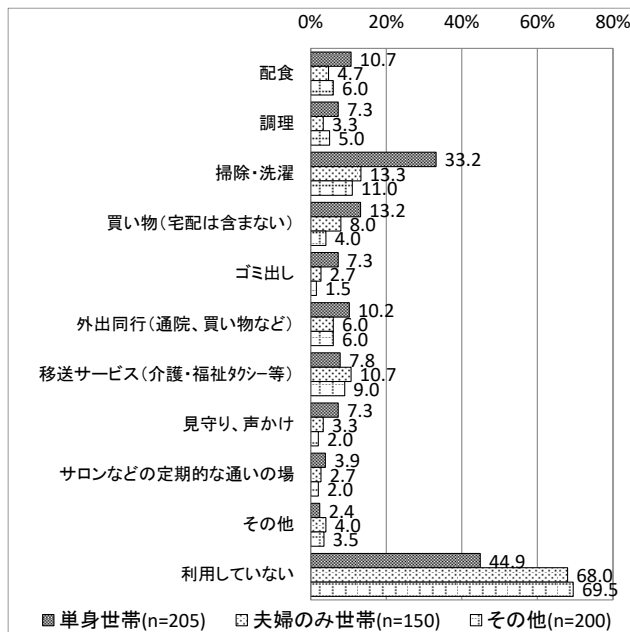


【在宅生活の継続のために必要と感じる  
支援・サービス(フルタイム勤務者)】

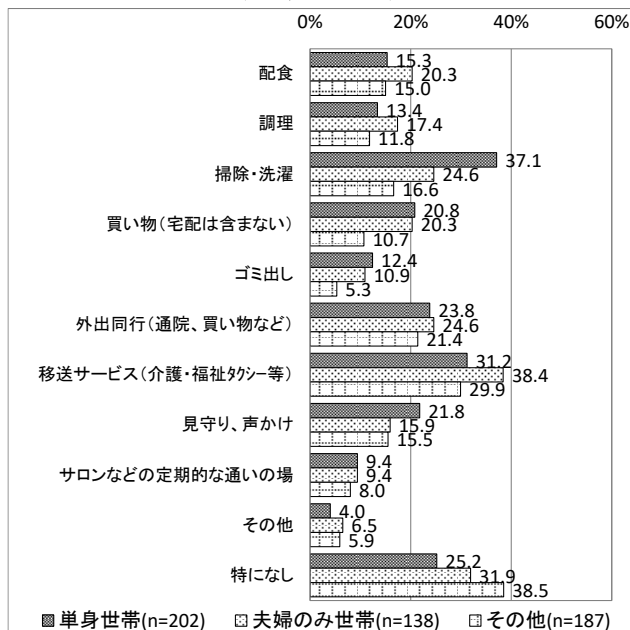


(6) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備について

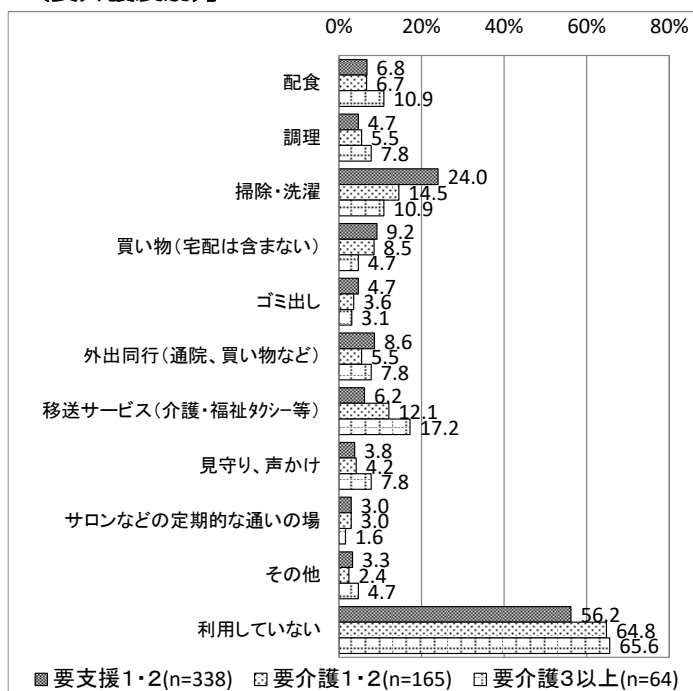
【介護保険以外の支援・サービスの利用状況  
(世帯類型別)】



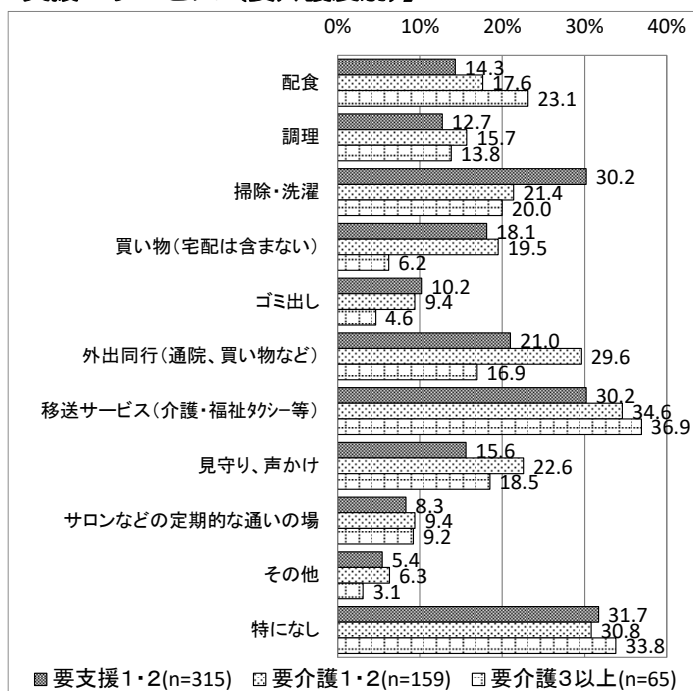
【在宅生活の継続のために必要と感じる  
支援・サービス(世帯類型別)】



【介護保険以外の支援・サービスの利用状況  
(要介護度別)】

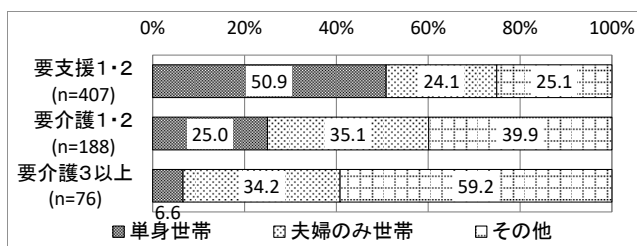


【在宅生活の継続のために必要と感じる  
支援・サービス(要介護度別)】

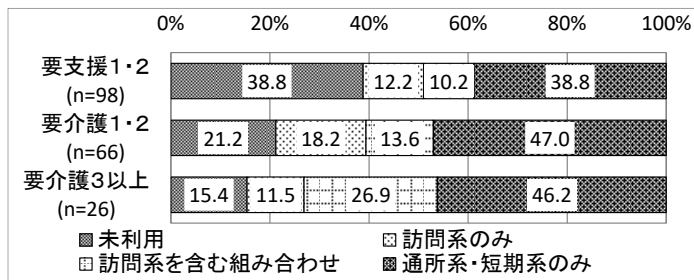


(7) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制について

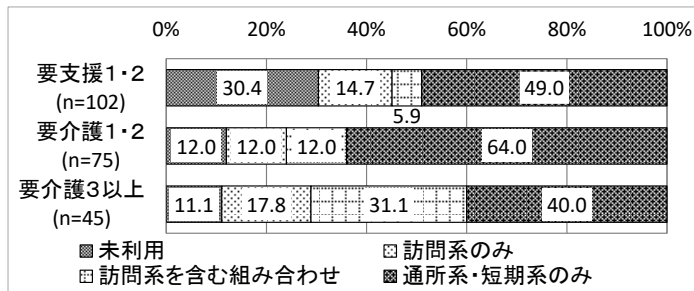
【世帯類型(要介護度別)】



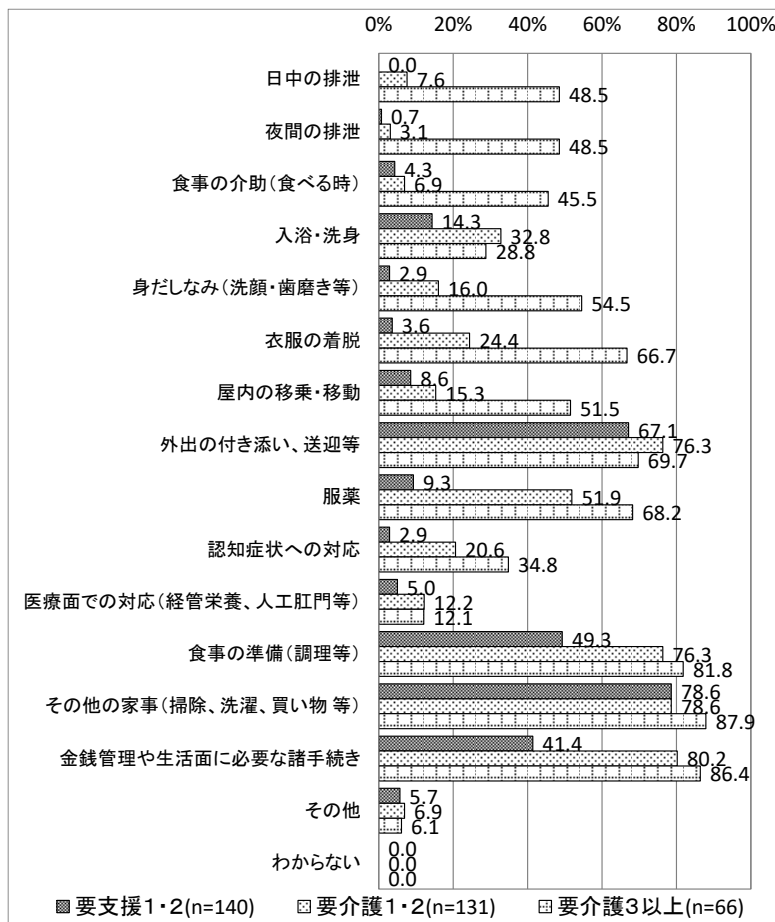
【サービス利用の組合せ  
(要介護度別・夫婦のみ世帯)】



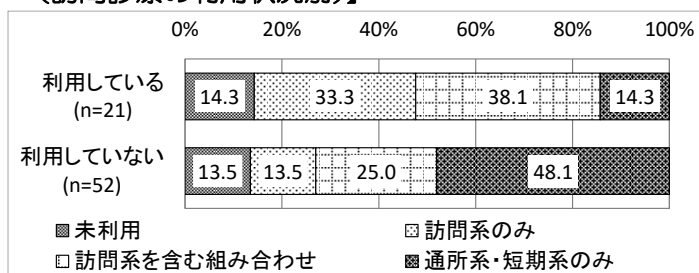
【サービス利用の組合せ (要介護度別・その他世帯)】



(8) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制について  
【行っている介護 (要介護度別)】

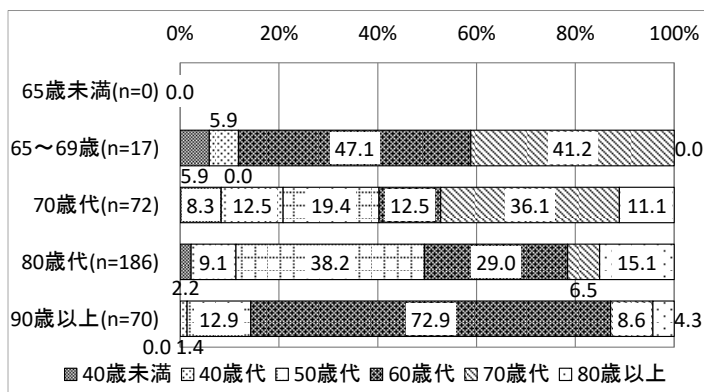


【要介護3以上のサービス利用の組合せ  
(訪問診療の利用状況別)】

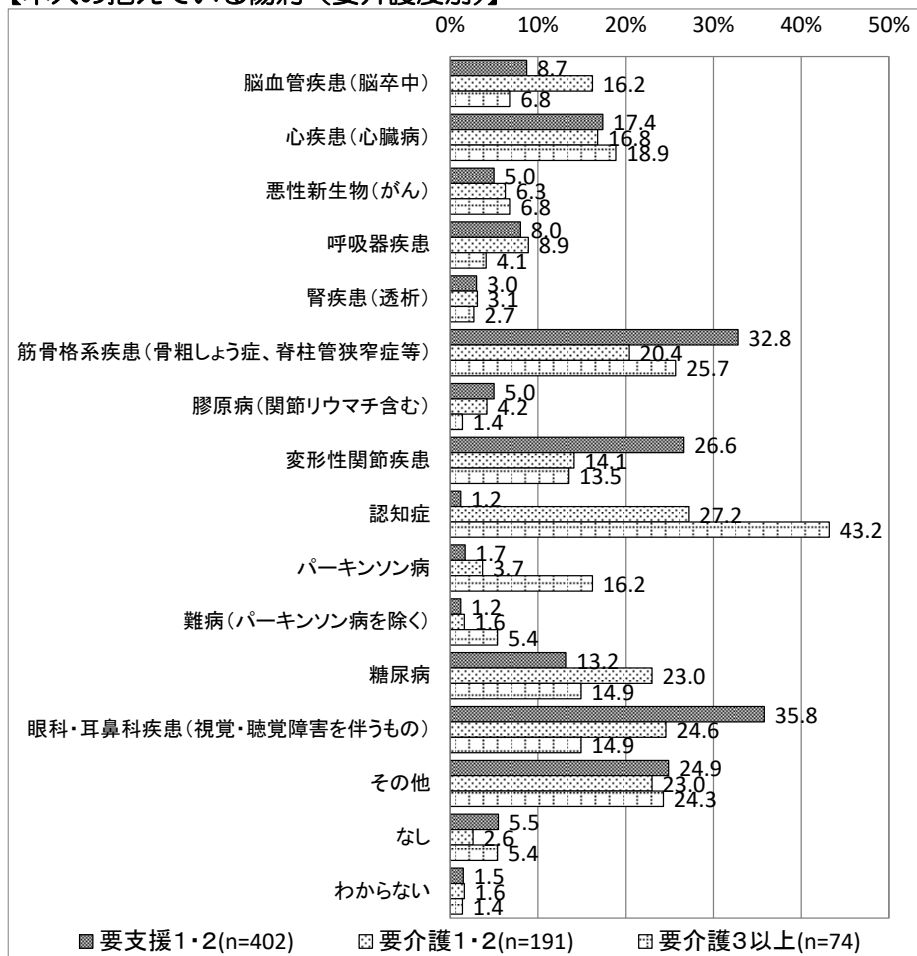


(9) その他の本人の状況等

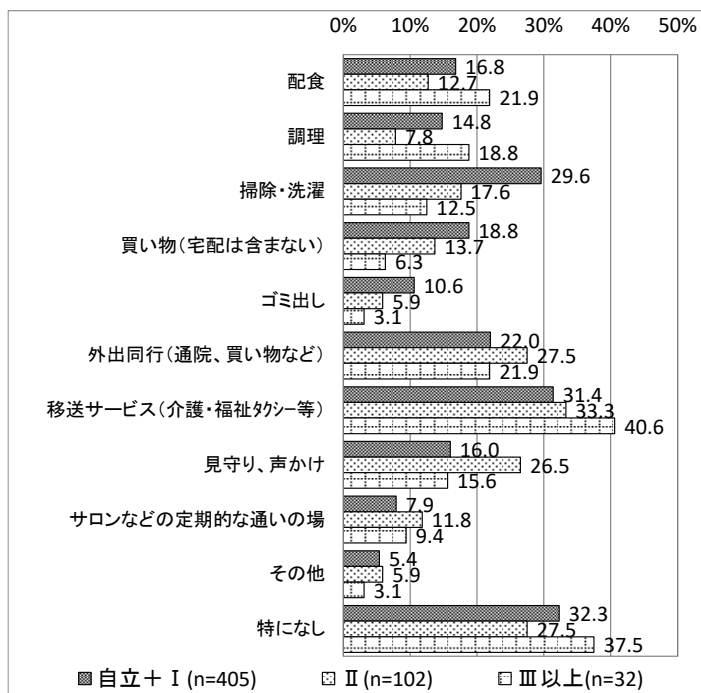
【主な介護者の年齢 (本人の年齢別)】



【本人の抱えている傷病 (要介護度別)】



【在宅生活の継続のために必要と感じる  
支援・サービス（認知症自立度別）】



## 2. 藤井寺市保健福祉計画推進協議会規則

---

(趣旨)

第1条 この規則は、執行機関の附属機関に関する条例（昭和42年藤井寺市条例第19号。以下「条例」という。）第3条の規定に基づき、藤井寺市保健福祉計画推進協議会（以下「協議会」という。）の組織、運営その他協議会に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 協議会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 保健福祉施策推進のための意見集約
- (2) 保健福祉施策に関する調査研究
- (3) 保健福祉施策の実施に当たっての助言
- (4) 保健福祉計画策定に当たっての市長からの諮問の審議及び報告
- (5) その他保健福祉施策の推進に関し必要な事項

(組織)

第3条 協議会は、委員30人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 保健福祉関係団体の代表者
- (2) 学識経験のある者
- (3) 保健福祉関係機関に属する者
- (4) 公募による市民

(任期)

第4条 委員の任期は3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長及び副会長の任期は、委員の任期による。
- 3 会長は会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。



(会議)

第6条 協議会の会議は、必要に応じ会長が招集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門部会)

第7条 会長が必要と認めるときは、協議会に専門的事項を分掌させるため、専門部会(以下「部会」という。)を置くことができる。

2 部会は、施策の検討、供給サービス、事例研究等事務及び各種行政計画の審議を分掌する。

3 部会は、会長が指名する委員で組織する。

4 部会には部会長を置き、正副会長が分担し部会を総理する。

5 その他部会の会議に関する事項は、前条の規定を準用する。

(幹事)

第8条 協議会に、幹事若干人を置く。

2 幹事は、市職員のうちから市長が任命する。

3 幹事は、協議会の所掌事務について、委員を補佐する。

(関係者の出席)

第9条 会長は、必要があると認めるときは、協議会の会議に関係のある者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第10条 協議会の庶務は、福祉部福祉総務課において行う。

2 部会の庶務は、部会を主宰する担当課において行う。

(委任)

第11条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に委員である者は、この規則の規定により委嘱されたものとみなす。

附 則(平成28年12月28日規則第111号)

この規則は、公布の日から施行する。

### 3. 藤井寺市保健福祉計画推進協議会いきいき長寿部会委員名簿

平成 30 年 2 月 1 日現在

氏名		区分	役職等
◎	藤本 恭平	保健福祉関係機関	藤井寺市医師会 会長
○	長畑 多代	学識経験者	大阪府立大学大学院 看護学研究科教授 (生活支援看護学領域老年看護学分野)
	落合 伸行	保健福祉関係機関	藤井寺市歯科医師会 会長
	竹下 享子	保健福祉関係機関	藤井寺市薬剤師会 副会長
	濱中 慶久	保健福祉関係団体の 代表者	藤井寺市老人クラブ連合会 会長
	西野 由美	保健福祉関係機関	社会福祉法人好老会 特別養護老人ホームひかり・第2ひかり 統括施設長
	明石 マスミ	市民代表	

◎：部会長 ○：副部会長 (敬称略)

第7期藤井寺市いきいき長寿プラン  
～高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画～  
(平成30年度～平成32年度)

---

発行：藤井寺市福祉部高齢介護課 こども・健康部健康課

〒583-8583

大阪府藤井寺市岡1丁目1番1号

TEL：072-939-1111（代表）

<http://www.city.fujidera.lg.jp/>